

毎号、社会で
キラキラ輝く女性に
こまち会の学生が
インタビュー!!





Profile

アナウンサー／広島テレビ
馬場のぶえ Nobue Baba

福井県出身、日本大学を卒業後、1997年に広島テレビ放送株式会社へ入社。夕方のニュース・生活情報番組「テレビ派」や「進め!スポーツ元氣丸」など同局の看板番組を担当。2003年6月に結婚。現在3児(2男1女)の母親でもある。
「ひろしま通」と「FP(ファイナンシャルプランニング技能士)3級」の資格を持つ。

「女性だからできる仕事が多い
なって感じています」

私は働いていて、女性だから働きにくいっていうのは思ったことがないんです。やる気次第でどんなことでもできるから。実際に私も、男性アナウンサーしかやってこなかったバレーボールの実況を志願し、熱意が通じてさせてもらったことがあります。それどころか、女性だからできている仕事の方が多いです。例えば、私は今、子育て番組の司会をやらせてもらっています。それは、自分が出産して子どもを育てているからこそできる仕事だと思っんです。

「女性ということはプラス」

今担当している「テレビ派」では、基本的に男性アナが進行します。本当は自分が仕切りたいのに女性だから我慢しているのでは?と思われるかもしれませんが、そうではありません。私はその分、男性の気づかない女性目線の発言をしようという心掛けています。視点を変えて、女性の強みをいかして仕事をしたら良いと思います。そうすると、女性だということはマイナスではなくてプラスだし、やりやすい仕事がたくさんあるなって感じます。だから、女性だからやりにくいというよりも、女性だからやりやすいことを探して仕事をし

「得ていることを見る。いつも前向きに」

仕事と育児の両立をしようと思って、どちらも100%頑張ろうとしたらやっぱりそれは難しいと思います。だから、何かを優先したときには何かを諦めないといけないと思うんです。仕事で遅くなる時には子どもと過ごす時間が短くなりますよね。そこで、子どもと関われないことばかりを気にするとか、落ち込んでしまいます。だから、諦めた方ばかりを見るんじゃなくて、得ていることを見ていくのが大事だと思います。仕事で学んだことが、将来子どもが悩んだときにアドバイスできるような自分の成長に繋がっているとるか。そうしたらいつも前向きにいられます。

「自分が何が求められているんだろう」

今まで「テレビ派」をやってきた中で、隣のアナウンサーが3人変わっているんです。やっぱり相手が変わったら、自分に求めるものとか立ち位置も変わってくるんですよ。若い頃、初めて一緒に仕事をすると息が合わなくて、先輩にアドバイスをもらったことがあります。その時に、相手が誰でも、その人に合わせて上手にやっていけるのが良いアナウンサーだと言われて、自分はそのようなアナウンサーを目指そうと思いました。いつも自分は今ど

取材後記

今回のインタビューで、私の心に一番グツときた言葉があります。それは、馬場さんのモットーである「力まず、気取らず、自然体」です。今までの自分は、何事にも力んでいましたが馬場さんのその言葉で、良い意味で肩の力が抜けた気がします。生で見る馬場さんは、とても輝いた素敵な女性でした。私も馬場さんのような素敵な女性を目指して「力まず、気取らず、自然体」に頑張っていきたいです。
(伊藤みづき、鳴尾映里、今本千晶)



「視野がどんどん広がっていききました」

私は学生の頃、積極性があんまりなかったんです。だけど、アナウンサーになっていろんな人に出会って話をすることで、こんな素敵な考え方があったんだと、視野がどんどん広がっていききました。3年前、広島菓子博の取材でお会いしたPRレディの方の趣味が茶道と聞いて、私もつてみたいなのと思い、今習っているんです。

「行動を興す人になったら良いと思います」

積極的にいる人々と出会って、「ミニケーション」を取ることは、自分を成長させて世界を広げてくれるっていうことに今更ながら気づいて、もっと早くからしておくんだなって思ったので、皆さんには積極的に行動してほしいですね。待っているんじゃなくて、自分から人に話しかけて「ミニニケーション」を取っていき、自ら行動を興す人になったら良いと思います。

新会長挨拶



岡林 晴香
◆経済学科 3年◆
(高知県・高知追手前高校)

応援メッセージ



副学長 兼 女子学生支援センター部長
石田 優子

広島経済大学的女子学生は、さわやかでチャレンジ精神旺盛、サークルやプロジェクトなど多くの活動に参加しています。そして、中でも今後の発展が楽しみな活動が女子学生会、通称「こまち会」。2015年度の活動をまとめた「こまちプレスvol.2」を見ると楽しいことや学びがたくさんあったことを思い出します。私たちもみなさんと活動を通じてふれあう中で、さまざまな気づき、元気をもらいました。学科や学年の垣根を越えて女子学生が集うイベントや、卒業生と話せる講演会、人生の先輩女性から学べる科目などを通じて、自らの未来の可能性について視野を広げておいてください。いつか人生の中で壁にぶつかったときに、乗り越えるための支えとなるものを、大学時代に得てほしいと思います。みなさんの豊かな人生を願い、支援していきますので、一緒にがんばっていきましょう。

「こまち会」
運営スタッフ
メンバー



鳴尾 映里
◆経営学科 4年◆
(広島県・星槎国際高校)

こまち会の魅力はなんといっても仲間が増えることです。学科や学年を超えて友達や先輩・後輩ができます。こまち会ではプロジェクトやサークルと兼任して活動をしているメンバーが多いのでとても刺激がもらえます。私はこまち会に入りたくさんの仲間と出会い、大きな成長ができたと思います。ぜひ一緒に活動しましょうー!!

芥川 香菜
◆経営学科 4年◆
(愛媛県・丹原高校)

私はこまち会に入って2年になるのですが、やさしい職員さんや個性豊かな学生のみんなと楽しく過ごせています!やりたことが両立できるこまち会で1来年就活も始まり不安に思っていることが多いのですがこまち会は最後までやっていこうと思っています!

本山 優
◆経営学科 4年◆
(愛媛県・松山商業高校)

この1年もこまち会のスタッフとして、様々なイベントの企画・運営に携わりました。新しいメンバーも増え、日々楽しく活動しています。今年度も女子学生向けのイベントを開催するの足運んでみてくださ!

松本 麻希
◆経営学科 4年◆
(広島県・県立広島商業高校)

今年は大学祭で熊野筆の上演販売をしたり、就活用メイクアップ講座をしたりと、昨年よりもさらに積極的に活動することができました。今後も女子学生のために頑張っていきたいと思います。

山本 明日美
◆経営学科 3年◆
(島根県・大東高校)

私は2年生の後期にこまち会のコメンターとなり、活動をしています。まだまだ力不足ではありますが、先輩方を見習って精一杯頑張っていこうと思います。3年生が2人しかいないので3年生のみなさん!是非こまち会で活動しませんか??

高山 裕加
◆経済学科 2年◆
(愛媛県・西条高校)

今年度は1年生ということもあり、初めての事はばかりで、ドキドキ1年でした。来年度はもっとこまち会のチカラになればいいなと思っています。

坂上 由依
◆経済学科 2年◆
(広島県・福山葦陽高校)

こまち会に入ったことでたくさんの先生、先輩方に出会うことができました。イベントの事などで分からないことがあっても優しく対応して教えてくださり、スムーズに楽しく活動することができました。

西村 可奈子
◆経済学科 2年◆
(岡山県・津山東高校)

こまち会メンバーとして、多くのイベントに携わることが出来ました。また、こまち会に入ったことで先生方や先輩など、たくさんの人と知り合う機会になりました。アットホームな雰囲気や優しい人ばかりなので、少しでも興味があるひとはいつでも遊びに来てください!

磯岡 茜
◆経済学科 2年◆
(愛媛県・今治北高校)

こまち会のメンバーはみんな優しく、仲良く活動しています。入学当初は友達ができるか不安でしたが、こまち会に入ったことによってたくさんの女の子の友達ができ、毎日楽しく学校生活を送ることができました。1年生の皆さんもこまち会に入って一緒に活動しましょう!

森 南那美
◆経済学科 2年◆
(広島県・三次高校)

スタッフとして、女子学生を対象とした企画の運営に携わせていただきました。何もかも初めての経験でしたが、こまち会の先輩や先生は優しい方々ばかりなので、安心して活動することが出来ました。また、同学年のみんなとも仲を深めることができ、とても充実した1年を過ごすことが出来ました!

伊藤 みづき
◆メディアビジネス学科 2年◆
(広島県・総合技術高校)

綺麗な化粧室に、女子学生向けの充実したイベント…。広島経済大学は、女子学生にとってとても過ごしやすい大学です!私達と一緒に、素敵な大学生活を過ごしましょう!

こまち会
運営スタッフ
募集

広島経済大学「女子学生会」(通称:こまち会)では、平成28年度の運営スタッフを募集しています。常時活動している中心(コア)メンバーの募集とイベントごとのスタッフ、サブメンバーも募集しています。
気軽に女子学生支援センター職員に声をかけてください。
女子学生支援センター:2号館3階(教育・学習支援センター内)
常駐スタッフ:佛円、瀬戸、高野

女子学生支援センタースタッフ

現在、10名のスタッフが女子学生の学生生活をサポートしています。

石田 優子 (副学長 兼 女子学生支援センター部長)

スタッフ:
田中 泉(教養教育部 教授) 瀬戸 麻由佳(教育・学習支援センター)
嵐森 暢裕(教養教育部 教授) 長尾 政宏(入試・広報戦略室)
迫田 奈美子(教養教育部 准教授) 高田 優菜(入試・広報戦略室)
高野 修(教育・学習支援センター) 栢 章子(学務センター 教務課)
佛円 浩美(教育・学習支援センター)

こまち会スレス | 2016 / vol.2 | 発行:2016年4月1日 編集:広島経済大学女子学生会 Tel:082-871-1083

OC女子カフェ

2015年6月14日、
7月25日・26日、
8月30日

女子カフェは、オープンキャンパスの開催日に合わせて実施しました。
高校生からは「受験勉強の仕方はどういふにしましたか?」や「女子が少なく不安じゃなかったですか?」など勉強や大学生活についての質問や、恋愛などの話題で盛り上がりました。
女子カフェに参加した高校生からは、「学生のみなさんがキラキラしていてとても魅力的でした。私もこの大学に入りたい気持ちが強くなりました」と話してくれました。
来年も多くの高校生に大学の良さを感じてもらえるようにしていきます。



キャリアデザイン 講演会&茶話会

2015年7月3日



当日は講師として、本学OGの西山光代さん(ガラス加工・販売関係勤務、平成20年卒)、栗栖愛実さん(エンタテインメント関係勤務、平成22年卒)、井本育美さん(公益財団法人勤務、平成25年卒)の3名をお招きし、就活のことや学生時代のこと、就職後の体験談などをお話していただきました。
講演終了後の茶話会では、プライベートな話も交えて、終始和やかな雰囲気でお話。参加した学生からは、「社会人として勉強になる話をたくさん聞くことができました。」と笑顔で話していました。

キャリアデザイン 研究会

2015年12月4日

希望の企業から内定を得た4年生のスポーツ経営学科の林舞美さん(金融関係)、スポーツ経営学科の荒井奈津子さん(メディア関係)、経営学科の河口結梨恵さん(金融・保険関係)の3人の先輩方にキャンパスライフや就職活動についてのお話を伺いました。
講演会では、就職試験対策として学生時代にしておいた方が良いことなどを話していただきました。参加した学生からは、「先輩からリアルな話が聞けて良かった。就活に向けて勇気がわいた」と話していました。



宮島セミナー

2015年5月24日



廿日市市の宮島で、こまち会のメンバーと教職員のみなさん、そして、新入学生たちとの親睦を深めるための「宮島セミナー」を開催しました。
このセミナーには、県外から来た学生に、広島の魅力伝えることも目的のひとつになっています。世界文化遺産である厳島神社や、宮島水族館、もみまんじゅう作り体験などをみんなで巡り、その周辺をゆっくり歩きながら、宮島ならではの良さを堪能しました。
普段話す機会がない他学年の学生や教職員のみなさんとも気軽に話すことができ、いつもの大学生活とは、また一味違う楽しい1日になりました。



HUE Welcome Party

2015年4月25日

新年度こまち会最初のイベント、新入生女子学生対象のウェルカム・パーティーが行われました。オープニングでは、こまち会会長の鳴尾映里から「パーティーのキャッチフレーズは『友達ゲット、友情ゲット、ケーキもゲット』です。みなさん、それぞれゲットしましょう」とあいさつがありました。



第1部

第1部は、素敵なこまち会の先輩方3名のトークショーでした。「90分授業は大変ですか?」や「一人暮らしは大変ですか?」など新入生ならではの疑問に先輩方がやさしく答えてくれました。「洋服はどこで買っていますか?」という質問には、「ほかの人とかぶらないように古着屋さんで買っています。」と答えていました。



第2部

第2部では、ケーキバイキングで好きなケーキを食べながら各テーブルに分かれて先輩と新入生が楽しく交流しました。最初は緊張もありましたが、打ち解けるにつれ、恋愛のことなどにも話題が及びました。このパーティーで友達を「ゲット」できた人も数多くいたようです。最後に全員で記念撮影を行い、閉会しました。



広経大男子たちのホンネ ～女子のココを見てる!!!～

飲み会でひくのはこんな女子

- 1位 酒グセが悪い (からんでくる、寝落ちする、など)
- 2位 しゃべらない
- 3位 騒ぐ・うるさい (ほかには…「店員にタメ口」、「秘密をばらす」、「はしの持ち方や食べ方が悪い人」など)

彼女にしたいのはこんな女子

- 1位 常識のない人
- 2位 マナーの悪い人
- 3位 ギャル系 (ほかには…「男友達が多い」、「男子と女子で態度が違う」、「化粧が濃すぎる」など)

ココまでされると重いのはこんな女子

- 1位 LINEで縛る (「毎朝おはようLINEがくる」、「毎月の記念日の0時に長文」など)
- 2位 電話で縛る (「毎日電話してくる」、「頻度が多い」など)
- 3位 嫉妬で縛る (「いちいち女友達との関係を聞く」など)

友達になりたい女子はこんな女子

- 1位 話しやすい
- 2位 いつも笑顔
- 3位 明るい (ほかには…「ボカに突っ込んでくれる」、「空気が読める」、「ノリがいい」など)

産学連携で商品プロデュース 大学祭

2015年11月14日・15日

大学祭に、こまち会「熊野筆のこまち一ぬ」として模擬店を出し、私たちがプロデュースした熊野筆・こまち洗顔ブラシの販売・体験コーナー・アンケートを実施しました。
販売用に用意していたこまち洗顔ブラシは完売しました。プレゼント用として購入する男性の方が多くいらっしゃったのは新しい発見となりました。
また、体験コーナーでは「とってもすべすべになった」、「手が白くきれいになった」と好評でした。実際に体験をした人に実施したアンケートでは、今後、洗顔ブラシを購入したいと思った人は、約95パーセントにもなりました。こうしたアンケートの結果を今後の商品プロデュースや販売に活かしていきたいと思っています。

メイクアップ講座

2016年2月3日

講座では、IAAインターナショナル エア アカデミー広島校から講師をお招きして、身だしなみとして必要なメイク方法を基礎から学びました。講義のほか、実際に自分が普段使用しているメイク道具を用いてメイクを行った後、講師から直接、自分に合ったメイクについて具体的なアドバイスを受けていました。
終了後のアンケートには、「メイクの大事さがわかった」、「知らなかったことだらけで勉強になった」といった声が寄せられました。

山縣先生の
メイクの
ワンポイント
アドバイス

「0.4秒で決まる
第一印象を好印象へ。」

チークを入れることで顔の印象がパツと明るく、元気なイメージになります。さあ!!「ウイスキースマイル」でピンク色のチークを頬に入れましょう。

崔先生の
就活
ステッスアップ

「おもてなしの心を大切に」

就活で1番大切なことは、相手を思いやる「おもてなしの心」を持つこと。常に、目の前の相手に喜んで頂けるよう、心を尽くしてください。そうすると、あいさつの声も大きくなり、ネガティブな言葉よりもポジティブな言葉を発し、表情も豊かになり、とびきりの笑顔で相手と接することができます。